

# ワーク・ライフ変革推進室

## トークイベント「JAXA職員が語る宇宙科学の仕事と生活」

### ◆ ワーク・ライフ変革推進室って？

ワーク・ライフ変革推進室は平成28年4月にJAXAに設置されました。様々な人が能力を発揮し、高い目標に挑戦し、成果を創出する組織へ変革することで、職員1人1人の労働生産性の向上を目指しています。

男女がともに尊重し合い、それぞれの職員が能力を十分に発揮できる環境をつくり、宇宙航空分野の活力を一層高めることを目指しています。

### ◆ どんな取り組みをしているの？

JAXAでは平成25年10月から平成28年3月まで「男女共同参画推進室」を設置して、女性研究者の活躍に取り組んできました。ワーク・ライフ変革推進室は、男女共同参画推進室の取組を継承して女性の活躍推進に取り組むとともに、全ての職員のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けて、働きやすい職場環境を整えることを目指して主に以下の取組を推進しています。

#### 【女性活躍推進に関すること】

- ・職員向けの意識改革セミナーや、子育て・介護等と仕事の両立支援のための交流会やセミナーの開催
- ・キャリア形成のためのメンター制度の導入
- ・JAXA女性研究者(ロールモデル)の紹介 等

#### 【職員の働き方改革に関すること】

- ・IT・オフィス環境の整備による時間と場所に縛られない働き方改革の推進
- ・会議や業務の合理化による働き方の改善と残業の削減等、ストレスフリーな働き方の追及

### ◆ 室長から一言

ワーク・ライフ変革推進室 室長・向井 浩子

特別公開に来て下さったみなさま

JAXAのプロジェクトの成果や失敗は大きくテレビや新聞に取り上げられますが、個々の職員がどんな研究をしているかはイメージしにくいのではないのでしょうか。トークイベントでは、研究内容を直接聞いていただくとともに、職場の雰囲気も理解いただくために「イクメン」「イクボス」の座談会も企画しました。

特に学生のみなさん、そして保護者の方、JAXAは完璧な職場ではありません。まだまだ変革しなければいけないところが沢山あります。しかし、10年前より、5年前より、確実に良くなっています。

生き生きした先輩の姿を見て、理工系であれ文系であれ、なりたい自分の姿が浮かんで来れば幸いです。



### ◆ 女性活躍推進法とJAXAの取り組み

平成27年8月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が制定されました。

女性が個性と能力を十分に発揮し、活躍するためにJAXAでは以下の行動計画を立てて取り組んでいます。

#### 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

(平成28年4月1日～平成31年4月30日)

##### 【目標】

- ・管理職に占める女性割合を11%以上にする。
- ・役員等意思決定のできる役職に女性の登用を1名以上行う。
- ・教授への女性の採用を1名以上行う。
- ・平均残業時間を3割削減する。

##### 【取組内容】

- ・女性自身が安心してキャリア形成でき、管理職として活躍できる支援体制の構築
- ・総労働時間削減を実現するための制度と環境の整備
- ・ワーク・ライフ・バランスに向けた意識改革

#### 次世代育成推進法に基づく一般事業主行動計画

(平成29年5月1日～平成31年4月30日)

##### 【目標】

- ・計画期間内に、年度に発給された年次有給休暇と夏季特別休暇の合計日数の60%以上、及び職員の配偶者の出産に関する3日以上の特例休暇を80%以上取得できるよう休暇取得を促進する。
- ・育児支援制度の柔軟な運用など育児環境の一層の改善を図る。
- ・ワーク・ライフ・バランスについて職員の理解を深め、それを支援する諸制度周知徹底と利用促進を図る。

#### JAXAの女性の活躍の状況(平成28年2月時点)

- ◆管理職に占める女性労働者の割合:7.2%
- ◆採用した労働者に占める女性労働者の割合:22.0%
- ◆男女の平均継続勤務年数の差異:74.9%

### ◆ 次世代キャリア支援

JAXAワーク・ライフ変革推進室では次世代キャリア支援として、中高生・大学生・大学院生を対象に、交流イベントなどを通して、女子学生のキャリアへのチャレンジを支援しています。

また、内閣府男女共同参画局の「理工チャレンジ」(通称リコチャレ)に参加し、女子学生の理工系分野の選択を応援しています。



- ◆もっと詳しく知りたい人のために  
ワーク・ライフ変革推進室ホームページ  
<http://stage.tksc.jaxa.jp/geoffice/index.html>

## トークイベント

## 「JAXA職員が語る宇宙科学の仕事と生活」

～ 理工系職員が自身の仕事・生活・キャリアについて語ります。  
進路選択・職業選択の参考にどうぞ ～

日時：7/27(金) ①11:00～11:30 / ②13:30～14:00

7/28(土) ③10:30～10:55 / ④12:10～12:50

場所：相模原市立博物館 地下 大会議室



JAXAワーク・ライフ変革推進室は内閣府男女共同参画局の「理工チャレンジ」に参加し、女子学生の理工系分野の選択を応援しています。

## 7/27(金) 登壇者紹介

(各回冒頭) ワーク・ライフ変革推進室活動紹介 ワーク・ライフ変革推進室室長 向井 浩子(むかい ひろこ)

## ① 11:00-11:30 山崎 典子(やまさき のりこ)



ISAS 宇宙物理学研究系 教授

2002年より宇宙科学研究所勤務。X線天文衛星による宇宙の高温ガスの観測、新しい観測機器の開発等に携わる。

## ② 13:30-14:00 井上 博夏(いのうえ ひろか)



ISAS 月惑星探査データ解析グループ、研究開発部門第一研究ユニット併任

修士課程修了後2016年JAXAに入社。月極域探査ミッションの着陸地点解析、ローバの走行経路の検討や火星衛星探査機プリプロジェクトのミッション検討に携わる。ライフ寄りのWLバランス。

## 7/28(土) 登壇者紹介

(各回冒頭) ワーク・ライフ変革推進室活動紹介 ワーク・ライフ変革推進室室長 向井 浩子(むかい ひろこ)

## ③ 10:30-10:55 長谷川 晃子(はせがわ あきこ)



ISAS 科学衛星運用・データ利用ユニット

2007年JAXA就職。各科学衛星の運用調整を支え続けて数年。現在は、科学衛星運用ネットワーク、伝送にも携わる

(手話付き)

## ④ 12:10-12:50 「イクボス VS イクメン」座談会

## 川勝 康弘(かわかつ やすひろ)



ISAS 宇宙飛翔工学研究系 教授

1998年宇宙開発事業団就職。2003年から宇宙科学研究所に所属し、かぐや、あかつき、PROCYON等、深宇宙探査機の開発・運用に取り組む。深宇宙探査技術実証機DESTINY+の提案を主導し、現在は、火星衛星探査機プリプロジェクトのチーム長。この間、共働きの妻と共に、二人の息子(現在15歳と12歳)を育ててきた。

## 今村 裕志(いまむら ひろし)



ISAS 科学推進部

1998年宇宙開発事業団就職。COMETS運用、MDS-1開発/運用、チーフエンジニア室、はやぶさ2開発/初期運用、理事長秘書を経て、科学推進部にてISAS各プロジェクトやその他候補ミッションの後方支援等を実施。共働きの妻と共に、8/6/4歳の三児の子育てに奮闘中。

## 坂東 信尚(ばんどう のぶたか)



ISAS 宇宙機応用工学研究系 助教

2005年より宇宙科学研究所勤務。高高度気球や科学衛星の姿勢制御の研究開発を担当。2017年10月から2018年3月まで育児休業を取得。現在、1歳5ヶ月の息子の抱き食べに悪戦苦闘中。

## 橋本 樹明(はしもと たつあき)



【司会】

ISAS 宇宙機応用工学研究系 教授 / ワーク・ライフ変革推進室協力員

1990年より宇宙科学研究所勤務。現在、超小型月探査機プロジェクトのチーム長を務める。20歳の息子と10歳の娘の父。